

目次

□巻頭言 日本の一つの役割について	橋本龍男	1
名誉会長 故内海清温先生を悼む	加藤三重次	3
高見ダムの機械施工の概要	舩持鉄雄 舟林繁	5
尾添発電所の水圧鉄管および 余水鉄管の据付工事	吉原茂雄 松本賤夫	12
第二新郷発電所の工事概要	佐藤榮滋	17
俣野川発電所の上部ダム・下部ダムの施工	長本隆夫	23
ダム堆砂の処理と佐久間ダムにおける 砂スラリー輸送実証試験計画	岡田剛 本藤賢	29
□随想 一病息災	石原寿	34
昭和58年度除雪機械展示・実演会見聞記	佐々木進	36

グラビヤ—昭和58年度除雪機械展示・実演会

農業用トラクタを利用した ロータリ除雪車の開発	栗山弘 野野以 小原俊 高林越 小高修 高橋平	39
高圧環境からの減圧の実施	関邦博	45
アブレイシブジェット切断工法と実績	中尾健 飯星児 五十嵐茂 孝文	51
昭和59年度建設機械損料の改正	宮本浩行	55
□新機種ニュース	調査部会	58
□文献調査		
“UBUG”—海底地盤調査機械の開発／石炭層における原位置掘削		
抵抗力の測定／トンネル断面の自動計測	文献調査委員会	62
□統計		
建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移		
	調査部会	66
行事一覧		67
編集後記	(松本・福来)	70

◀表紙写真説明▶

三菱 MCD 15 G  
大孔径油圧回転打撃式  
クローラドリル  
三菱重工株式会社

大型土木工事や鉱山では発破の経済性が重要視されており、本機はすでに開発された中小型油圧ドリルの経験をベースに、自動化等の最新技術を結集した大型ドリルで、従来のダウンザホールによる大孔径分野の革新をねらった新鋭の大型油圧ドリルである。大型油圧ドリフタによりせん孔速度、燃費、騒音特性にすぐれ、また、全自動ロッドチェンジャを採用し、コントロール部にはマルチファンクションディスプレイ、ダストコレクタには自動脱塵方式を採用するなど、最新のエレクトロニクス技術および自動化技術が大幅に取り入れられている。

◀主な仕様▶

せん孔径……φ105～φ150mm (標準φ125mm)  
ドリフタ打撃数……1,500bpm  
送り装置……押付力7,000kg (最大)  
適用ロッド……6m×6本  
原動機出力……270PS (三菱S6B-TA)  
機械総重量……19,000kg (ツールは含まない)